

(様式 2)



令和 7 年 2 月 10 日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 翔和会
代 表 者 多賀野 一彦



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和 7 年 1 月 2 1 日 (火)
- 2 場所 衆議院第一議員会館 地下 1 階大会議室
- 3 目的

山陰近畿自動車道の更なる道路整備を推進するため、「山陰近畿自動車道建設促進議員連盟」と 3 府県による「山陰近畿自動車道整備促進協議会」が合同で「山陰近畿自動車道整備推進発起大会」を開催し、地元議員として要望活動を行う。

- 4 該当する政務活動費の使途項目

要請・陳情費

- 5 支出経費の内訳と金額

【交通費】	95,980 円	
(内訳) 京都縦貫道往復 (京丹後大宮 IC～沓掛 IC)	5,260 円	
使用車両ガソリン代	2,000 円	
京都駅～東京駅往復 (3 人)	83,820 円	
使用車両駐車場代 (1 泊 2 日)	4,900 円	
【宿泊費】	24,000 円	
(内訳) アパホテル六本木 SIX	8,000 円×3 人	素泊まり

- 6 参加議員名

多賀野一彦、山本佑太、由利彰基

7 活動成果の概要、所見

決起大会は重要な要望活動であり、道路整備の本質的な意義を再認識し、整備による効果や優位性を、地元議員をはじめ地域がどのように活用するかが重要である。

また、現状認識としては、高規格幹線道路に匹敵する重要な道路であるにもかかわらず、他県よりも遅れているのが現状である。

自然災害の視点から見ると、自然災害が起こった場合でも、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結し、防災ネットワークの構築など多面的な要素があることから、防災・減災に寄与する重要な幹線道路である。

地域医療の視点からも、本市や山陰海岸地域には重要な医療拠点があるものの、それらを結ぶネットワーク網が不十分である。医療拠点の整備に加えて道路網を命のネットワーク網とするため、早急に整備を進めることが三府県共通の課題の一つである。特に、緊急時には迅速な医療対応が求められるため、道路網の整備は地域住民の安心安全を確保するためにも重要であり、これにより、医療の質とアクセスが向上し、地域全体の健康と安全に寄与することが期待される。

災害、医療と地域住民を守る一つ的手段として、住民保護の視点でも引き続き道路整備は強く求め、一日でも早く課題解決に向けて取り組むべきである。

全長 120 キロに及ぶ高規格道路は、現状 4 割しか完成していない。従来通りの予算編成は、物価高騰の中では、予算が減少しているのと同じである。抜本的な予算編成を行い、年限を示した期間内に完成できるよう第一優先事項として連携して取り組む必要がある。

また、年限を示し、完成させることは、企業による計画的な投資の誘発にもつながりやすくなり、産業の発展、地域の経済効果に寄与することにつながると思う。こうした動きを通じて、ヒト・モノ・カネが流動的に資産として動くことで、地域のより良い発展が期待できる。そのためにも、高速道路を求める地元企業、行政各所、市民が一丸となって山陰近畿自動車道の延伸の声を国政へ届けていかなければならないと強く感じた次第である。